

京都老舗の会 NEWS LETTER

Vol.22



1. イタリア老舗ユニオン総会の様子について

－ 京都老舗の会特別会員 龍谷大学 経済学部 教授 松岡 憲司 －

京都府とイタリア・トスカーナ州は平成17年に「京都府-トスカーナ州経済・環境交流宣言」を調印しており、さまざまな交流が交わされています。2015年6月5日には、トスカーナ州フィレンツェで、「京都とイタリアにおける長寿企業の経営戦略について」と題したフォーラムが京都老舗の会とイタリア老舗ユニオンの共同により開催されました。このフォーラムには京都府山田知事（当時）、トスカーナ州の代表とともに、京都老舗の会とイタリア老舗ユニオンから、それぞれ代表する企業の経営者の方々が報告し、意見交換をしました。

イタリア老舗ユニオン (Unione Imprese Storiche Italiane) は、前身を含めると18年の歴史を持っています。スタートはフィレンツェ老舗協会 (Associazione Imprese Storiche Fiorentine) で、2000年にトッリーニ (Torrini) 社のフランコ・トッリーニ (Franco Torrini) 氏とサンタ・マリア・ノヴェッラ薬局のエウジェニオ・アルファンデリー (Eugenio Alphantery) 氏によびかけに応えた11人の老舗によって設立されました。その後、2006年にフィレンツェが属しているトスカーナ州の老舗企業に範囲を広げて、トスカーナ老舗ユニオン (Unione Imprese Storiche Toscane) となり、さらにイタリア全土に範囲を広げて、2012年2月にイタリア老舗ユニオンとなりました。条件は創業100年以上で、伝統的な活動を続けており、その価値が認められていることです。販売だけの会社は入会を認められませんが、銀行については入会が認められます。2018年4月現在46社の会員がいます。

筆者は、イタリア老舗ユニオンの総会にひょんなことから参加する機会をいただきました。イタリア老舗ユニオンでは毎年4回の総会を開いているそうです。今回の春の総会は3月23日に開催されました。同ユニオンの総会は、会員の老舗企業を会場として開いているようで、今回はスポーツカー・メーカーのフェラーリが本社・工場を置いているモデナ近郊のカステルヌオーヴォ・ランゴネにあるヴィッラーニ・サラミ社で開催されました。同社は名前からもわかるように、サラミソーセージや生ハムなどの肉製品を造っている1886年創業の企業です。カステルヌオーヴォ・ランゴネは養豚・豚肉生産が大変活発で、そのような地域の背景のもとにサラミ、生ハム製造に携わってきた会社です。



ヴィッラーニ・サラミ社



ヴィッラーニ社ホールでのランチ

総会会場は同社のホールですが、かなり大きなホールで、総会を開くには十分なスペースがありました。午前の総会は会員のみのため筆者は参加していませんが、新入会員の紹介や2018年の通常総会の内容などが議論されたそうです。

ヴィッラーニ・サラミ社ご自慢のサラミや生ハムが振る舞われたランチの後、シンポジウムが開かれました。司会はフランコ・トッリーニ氏です。ミラノ大学のフランコ・チェザーロ教授と筆者がそれぞれ報告した後、会員との間に意見交換がなされました。チェザーロ教授の講演は「全ての物事にはそれ相応の時期がある」と題するもので、近代企業とファミリービジネスの比較、日本とイタリアの比較などが主な内容でした。



シンポジウム (左から) チェザロ教授 トッリーニ氏 筆者 パルパチェットさん (通訳)

筆者は京都の老舗の概要・特徴などについて話しました。会員との議論の焦点のひとつは、長子相続でした。筆者は京都の老舗企業へのアンケートから京都の老舗の経営者はその約6割が先代の長男、次男などを含めると四分之三が先代経営者の息子さんですという話をしました。イタリアでもかつては同じような傾向があったが今はないという意見の方もいる一方、今でも残っているという意見が交わされていました。

討論の後は、ヴィッラーニ・サラミ社の博物館見学です。サラミや生ハムをどのように製造するのか、非常に詳しく説明されました。イタリア老舗ユニオンでは会員各社にこのような博物館を設置することを推奨しているということでした。

5時頃解散となり、トッリーニ社長の車にのせていただき、フィレンツェの宿に戻りました。



アルファンデリー会長 (左) とヴィッラーニ・サラミ社ジュゼッペ・ヴィッラーニ社長 (右)



総会参加者の記念撮影

2. 平成30年度「京の老舗表彰」対象企業の募集について ～創業100年以上の老舗を表彰します～

京都府では、社会経済情勢の変遷の中にあって創業100年以上で、堅実に家業の理念を守り、他の模範となってきた企業を「京の老舗」として顕彰し、その長年の経営努力を報奨しています。

このたび、平成30年度「京の老舗表彰」において対象企業の募集を行いますので、皆様のお知り合いの企業で対象となる企業がありましたら、御案内していただければ幸いです。

1 対象企業

京都府内において、同一業種で100年以上にわたり堅実に家業の理念を守り、伝統の技術や商法を継承し、他の模範となってきた企業

※対象企業…大正7年12月31日以前に創業し、現在に至るまで継続して営業を続けてきた企業

2 申請手続

(1) 申請書類 所定の申請書・業歴書・所属業界団体の長等の推薦書

(2) 申請書送付先

・京都府商工労働観光部染織・工芸課：京都市・向日市・長岡京市・大山崎町内の企業等

・京都府各広域振興局商工労働観光室：その他地域の企業等

(3) 申請期限 5月15日(火)～6月14日(木) (必着)

※京都府ホームページ

(<http://www.pref.kyoto.jp/senshoku/news/press/2018/5/h30shinisehyousyou.html>)

でも、申請書等の様式を入手できます。

3. 京の老舗を知る連続講座 聴講者募集！！

～京都老舗の会・龍谷大学コラボレーション講義～

京都老舗の会と龍谷大学がコラボレーションし、老舗の経営者等を特別講師に迎え、連続講座を開講します。各講座では、老舗が代々受け継いできた伝統と新しいものへの挑戦について、講演をいただく予定です。

コラボレーション講義には学生のほか、一般の方も申し込みにて参加可能ですので、ご興味のある方は下記申込方法により申し込みください。



[講座内容]

(1) 日 程

- ① 5月17日(木) 13:15～14:45
講師：(有)中村ローソク【和ローソク】和蠟燭職人 田川 広一
- ② 5月31日(木) 13:15～14:45
講師：近江屋ロープ(株)【ロープの販売】代表取締役社長 野々内 達雄
- ③ 6月14日(木) 13:15～14:45
講師：(株)安田念珠店【念珠】代表取締役 安田 容造
- ④ 6月28日(木) 13:15～14:45
講師：啓明商事(株)【呉服卸業】代表取締役社長 野瀬 守弘
- ⑤ 7月 5日(木) 13:15～14:45
講師：祇園 一力亭【お茶屋】女将 杉浦 京子

(2) 場 所

龍谷大学深草キャンパス和顔館B202 (京都市伏見区深草塚本町67)

(3) 定 員

20名(申込順)

(4) 費 用

無料

(5) 申込方法

原則各講座の1週間前までに電話により龍谷大学経済学部教務課へお申し込みください。

○電話番号：075-645-7894 (担当：奥・武澤)

○受付時間：平日(月～金) 10:00～16:00

京都老舗の会事務局

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

京都府商工労働観光部染織・工芸課内

電話：075-414-4858 FAX：075-414-4870